

農地法第3条許可申請書 作成ガイド

“○” …記入が必要 “△” …場合により記入が必要 “-” …不要

項目	①個人	②農地所有 適格法人	③その他の法人	備考
氏名、土地の所在、契約の内容等	○	○	○	
I 一般申請記載事項				
1-1 所有農地等の状況	○	○	○	
1-2 作付予定作物、保有機械状況、農作業従事人数等	○	○	○	
2 農地所有適格法人の構成員等の状況	-	○	-	
3 信託契約の内容	△	△	△	信託による場合のみ記載。
4 世帯員等の農作業従事状況	○	-	-	
5 転貸する場合	△	△	△	転貸を行う場合のみチェック。
6 周辺地域との関係	○	○	○	
II 使用貸借又は賃貸借に限る申請での追加記載事項				
7 地域との役割分担の状況	-	-	○	
8 法人役員の耕作等従事状況	-	-	○	
III 特殊事由により申請する場合の記載事項				
9 特殊事由に該当する場合	△	△	△	該当する場合は事業・計画についての記載が必要。
(別紙1-1~4) 農地所有適格法人としての事業等の状況	-	○	-	

※申請時の注意点

- 自署や押印は不要です。
- 捨印による記載内容の訂正は行わないので、記入漏れ等が無いように書類の作成をお願いします。
- 農地法第3条の主な許可要件は以下のとおりです。
 - ①取得農地を含むすべてを効率的に利用すること。
 - ②法人の場合は農地所有適格法人であること。
 - ③取得後の農作業に常時従事すること。
 - ④周辺地域の農地の効率的かつ総合的な利用に支障がないこと。

その他具体的な計画の提示を拒まれる場合や、地域計画に支障が出るおそれのある案件の場合など、申請をお受けできないことがあります。